

# 会 議 資 料

平成31年 1月18日（金曜日）

西脇市生涯学習まちづくりセンター

西脇市総合計画審議会

## 西脇市総合計画審議会委員名簿

### 1 委員

氏 名	所 属 ・ 経 歴 等	
北 原 鉄 也	関西学院大学総合政策学部教授	会長
杉 山 武 志	兵庫県立大学環境人間学部准教授	副会長
齋 藤 周 藏	西脇市連合区長会会長	副会長
朝 井 崇 雅	前西脇青年会議所理事長	
大 久 保 恵 司	西脇市社会福祉協議会会長	
小 澤 陽 美	前西脇市教育委員	
齋 藤 太 紀 雄	西脇商工会議所会頭	
篠 田 重 一	北はりま農産物直売所出荷者協議会会長、基幹的農業従事者	
角 田 幸 子	西脇市多可郡医師会事務局長、在宅医療介護連携相談支援センター職員	
東 田 万 智 子	西脇商工会議所女性会会長	
富 永 なおみ	西脇市民生委員・児童委員連合会理事、西脇小児医療を守る会代表	
東 田 新 吾	西脇市消防団団長	
藤 井 志 帆	公募、特定非営利活動法人白ゆり会職員、もっとすてきに“パートナー”委員会委員	
真 鍋 宣 征	西脇市老人クラブ連合会会長、西脇市花と緑の協会会長、前西脇市人権教育協議会会長	
萬 浪 友 子	特定非営利活動法人みなみ会理事	
吉 田 光 一 郎	公募、元青年会議所理事長	
西 川 嘉 彦	兵庫県北播磨県民局副局長	
吉 田 孝 司	西脇市副市長	

### 2 事務局

氏 名	所 属
筒 井 研 策	都市経営部長
萩 原 靖 久	都市経営部次世代創生課長
依 藤 嘉 久	都市経営部次世代創生課次世代創生担当主幹
澤 田 康 生	都市経営部次世代創生課次世代創生担当主査
宮 田 和 平	都市経営部次世代創生課職員

総合計画審議会での意見を踏まえた修正状況

No	ページ	記載箇所	意見要旨	対応要旨
1	16	＜第1章・政策4＞ 就学前教育と保育を充実する ＜施策02＞ 就学前教育・保育施設の運営を支援します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の不足は生じているのか。</li> <li>・人材確保を進めて、待機児童の問題解決に取り組んでほしい。</li> </ul>	<p>○次のように加筆しました。</p> <p>◆<u>認定こども園等による保育教諭等の処遇改善や業務の効率化などを支援するとともに、人材確保に向けた取組を支援します。</u></p> <p>○政策指標として「認定こども園の待機児童数」を設定し、目標値を0人にしました。</p>
2	16	＜第1章・政策4＞ 就学前教育と保育を充実する ＜施策03＞ 放課後の居場所をつくります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ活動に、高齢者などをボランティアとして活用することは考えられるか。</li> <li>・子どもの居場所づくり、認知症予防、高齢者の居場所づくりにつながる。</li> </ul>	<p>○次のように追記・加筆しました。また、対象者の拡大に向けた取組を加筆しました。</p> <p>◆<u>仕事と子育ての両立と子どもの健全な育成を図るため、放課後の居場所となる放課後児童クラブを運営するとともに、より効果的な運営手法を検討します。</u></p> <p>◆<u>放課後児童クラブの対象者の拡充に向けて、必要な環境整備を進めます。</u></p> <p>◆<u>放課後児童クラブや放課後の時間などを活用し、地域の人材と連携した体験的学習を進めます。</u></p>
3	18	＜第1章・政策5＞ 学校教育を充実する ＜施策02＞ 豊かな心と健やかな体を育みます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の記載位置が後ろになっている。</li> <li>・道徳が教科化され、重要性が増している。</li> </ul>	<p>○施策内での順番を最も前に変更した上で、人権教育に関する加筆などを含めて、次のように修正しました。</p> <p>◆<u>道徳教育、人権教育の推進や自然の中での特別活動などを通じて、自己肯定感を高めるとともに、命や自然の大切さや他者との協働の重要性の理解を促進します。</u></p>
4	90	＜第5章・政策7＞ 人権文化を創造する ＜施策01＞ 人権文化をすすめる市民運動を推進します		<p>○次の記述を追記しました。</p> <p>◆<u>人権感覚を磨き、共生社会への理解を深めるため、子どもが様々な人と触れ合う体験活動を行います。</u></p>
5	24	＜第2章・政策1＞ 地域福祉を充実する ＜市民に期待される役割＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の表現が「目指す姿」と似ており、抽象的</li> <li>・目指す姿と区別できる表現で、もう少し具体的に記述してはどうか。</li> </ul>	<p>○次のように修正しました。</p> <p>・地域における支え合いの大切さへの理解を深め、近所同士の身近な支え合いやボランティア活動、講座などに参加、協力します。</p>
6	26	＜第2章・政策2＞ 地域医療を守る ＜施策01＞ 地域の医療体制を守ります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の高齢化などにより、医師不足が心配</li> <li>・中山間地域などは医師が訪問するにも一日掛かる。</li> <li>・ICTの活用なども考えられる。具体的なものがなくても、可能性に触れてもよいのではないか。</li> </ul>	<p>○医療従事者の確保について、次のように加筆しました。</p> <p>◆<u>医療ニーズに対応するため、<u>看護師などの医療従事者の育成・確保</u>を図ります。</u></p> <p>○ICTを活用した医療体制について、次のように追記しました。</p> <p>◆<u>北播磨地域医療連携システム等の更なる活用など、ICTを活用した医療・介護体制の強化を進めます。</u></p>

No	ページ	記載箇所	意見要旨	対応要旨
7	32	<第2章・政策5> 障害者福祉を充実する <施策01> 障害者の生活を支援します	・教育現場や就労支援機関など、多機関の連携により、ライフステージに応じた切れ目のない支援が必要	○次のように追記しました。 ◆行政、教育機関、事業所等の多様な障害者支援機関などが連携し、それぞれのライフステージにおける課題等を共有し、支援する相談支援ネットワークの構築を進めます。
8	32	<第2章・政策5> 障害者福祉を充実する <施策02> 障害者の自立を支援します	・障害者にとっても利用しやすい公共交通となることを期待する。	○次のように加筆しました。 ◆交流機会の創出や移動支援の実施、 <u>利用しやすい公共交通への再編</u> などにより、障害のある人の社会参加を促進します。
9	34	<第2章・政策6> 社会保障制度を適正に運営する <市民に期待される役割>	・市民に期待される役割について、保険料の納付だけでなく、制度の理解や活用についても記載すればよいのではないか。	○次のように追記しました。 ◆社会保障制度に関心を持ち、必要が生じたときは、行政窓口などで相談し、各種制度を適切に活用します。
10	46	<第3章・政策1> 防災基盤を整備する <施策03> 危機管理体制を強化します。	・防災行政無線（自動配信）に緊迫感がなく、危機感が伝わらない。 ・避難勧告や避難指示が早すぎる。 ・避難勧告や避難指示が出ても非難しない人が多い。	○次のように追記しました。 ◆より安全で効果的な避難行動につなげるため、避難指示等の発令体制などについて、検討を進めます。
11	58	<第3章・政策7> 自然と調和した住環境を整える <施策03> 身近にあるきれいな環境を守ります	・人口減少や高齢化が進んで、河川堤防の草刈に地域で対応するのが限界になってきている。	○河川環境の保全について、地域と一緒に今後のあり方を考えていくことを踏まえて、次のように加筆しました。 ◆河川環境については、県や地域との連携の下で美化活動を行うなど良好な環境の保全に努めるとともに、 <u>今後のあり方について検討を進めます。</u>
12	64	<第4章・政策1> 地域に根ざした商工業を振興する <施策03> 商業のにぎわいをつくります	・デマンド型交通を導入しても、車が入れない狭い道路がある。スーパーマーケットによる移動販売を支援してはどうか。	○民間の主体的な活動を基本に、その取組を支援するため、次のように記述しています。 ◆ <u>買物弱者への対応</u> や観光振興との連携など新たな顧客を獲得する取組を支援します。
13	70	<第4章・政策4> 観光・交流を振興する <施策02> 観光交流の基盤を整えます	・観光に力を入れる場合、西脇市駅からのバスの本数の増便、レンタサイクルなどの取組が必要ではないか。	○次のように加筆しました。 ◆既存の観光施設の機能向上を図るとともに、観光資源の誘導・案内サインや情報ネットワーク環境の整備、 <u>市内移動手段の充実</u> などを進めます。
14	104	<第7章・政策1> 行政資源の有効活用を図る <施策01> 効果的・効率的な行政経営を推進します。	・職員数が少ない中で、民間委託をさらに進めることは考えていないのか。	○次のように追記しました。 ◆業務の共通化や民間委託の推進など、効率的な行政運営を推進します。

その他主な修正箇所

No	ページ	記載箇所	修正の理由・背景	対応要旨
1	14	<第1章・政策3> 子どもを守る仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども条例（仮称）の制定作業が進捗中</li> <li>・こどもの最善の利益（子どもにとって最も良いこと）を守ることを目指す「子どもの権利条約」などの趣旨も踏まえて、子どもの権利（生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利）などについて啓発し、地域全体で取り組んでいくことについて、記載した。</li> </ul>	<p>○次のような施策を新設しました。 （施策名） 04 子どもを大切にします （展開方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域社会全体に子どもの権利に関する理解が広がるよう、こども条例（仮称）の理念等を普及・啓発します。</li> <li>◆子どもの思いや意見を踏まえたまちづくりを推進するとともに、子どもの最善の利益を地域社会全体で守る取組を進めます。</li> </ul> <p>（主な取組・事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども条例（仮称）の制定（再掲）</li> <li>・子どもの権利に関する普及・啓発</li> </ul>
2	18	<第1章・政策5> 学校教育を充実する <施策02> 豊かな心と健やかな体を育みます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域・図書館などを中心とした読書に加えて、学校教育における読書の重要性を踏まえて、修正した。</li> </ul>	<p>○次のように追記しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆図書館と連携しながら学校図書等の充実を図り、生きる力を育む読書活動を推進します。</li> </ul>
3	18	<第1章・政策6> 教育を支える環境を整える <施策03> 家庭や地域と連携します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども条例（仮称）の趣旨や新学習指導要領なども踏まえて、子どもの社会参加などについて、記載した。</li> </ul>	<p>○次のように追記しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域行事やボランティア活動への参加など、児童生徒の社会体験活動を促進します。</li> </ul>
4	25	<第2章・政策2> 地域医療を守る <目指す姿>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療を守っていくためには、医療機関の連携だけでなく、市民一人ひとりの意識も重要であるという趣旨について、追記した。</li> </ul>	<p>○次のように加筆しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>市民一人ひとりが地域医療を守る意識を共有し、医療機関相互の連携が進むこと</u>で、住み慣れた地域で安心して医療を受けることができます。</li> </ul>
5	36	<第2章・政策7> 社会的な自立を支援する <施策03> 犯罪被害者を支援します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪被害者等基本法の趣旨を踏まえて、犯罪被害者などの平穏な生活の回復に向けて、支援を充実することを踏まえて、追記した。</li> </ul>	<p>○次のような施策を新設しました。 （施策名） 03 犯罪被害者を支援します （展開方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆犯罪被害者等が抱える様々な問題について、総合的な相談・情報提供を行うとともに、犯罪被害者等への支援の必要性などについて普及・啓発を行います。</li> <li>◆犯罪被害者等の平穏な生活の回復に向けて、生活資金の支給や日常生活の支援などを行います。</li> </ul> <p>（主な取組・事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な相談窓口の設置</li> <li>・生活資金支援金の支給</li> <li>・家事援助の派遣等の支援</li> </ul>

## 総合計画・基本計画（案）のパブリック・コメントの実施について

### 1 パブリック・コメントとは

計画や条例など市の基本的な政策を決める際に、その案を広く市民の皆さんに公表し、皆さんから寄せられたご意見を参考にして最終的な意思決定を行うものです。

### 2 パブリック・コメントの実施概要について

#### (1) 募集期間

平成31年1月29日（火）から平成31年2月27日（水）まで（予定）

#### (2) 閲覧資料

##### ア パブリック・コメント対象資料

- ・西脇市総合計画・基本計画（案）

##### イ パブリック・コメント参考資料

- ・西脇市総合計画・基本計画（案）概要版
- ・西脇市総合計画・基本構想（案）

#### (3) 閲覧方法

市HP、市役所情報公開コーナー、みらいえ、ほか

※広報にしわきで募集告知記事を掲載予定

#### (4) 意見提出方法

所定の様式等で、住所、氏名（名称）、電話番号等を明記の上、郵送、ファクス、電子メール等により提出

#### (5) 意見反映方法

募集期間終了後、提出意見と考え方をまとめて審議会で検討します。また、提出意見と考え方については、市ホームページ等で公表します。



# まちづくり市民アンケートの概要について

## 1 趣旨

- ・市民の生活実感や日常生活の行動についてアンケート調査を実施し、その変化や推移を把握すること。
  - 総合計画の進捗状況を把握
- ・平成30年度は新しい総合計画の現状値（基準値）を把握

## 2 アンケートの実施概要

### (1) 調査対象

- ア 本市に在住する15歳（高校1年生相当）以上の者 2,000人
- イ 住民基本台帳による無作為抽出

### (2) 調査方法

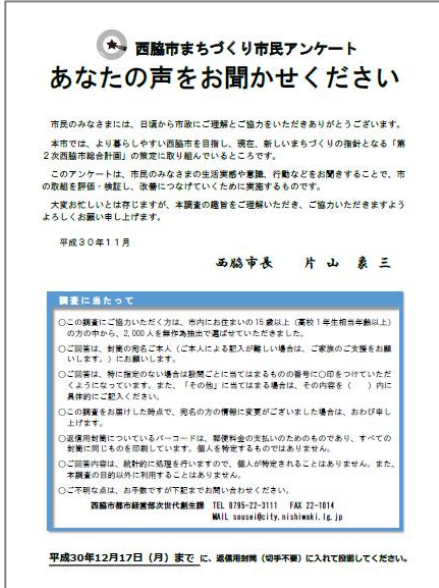
郵送配布・郵送回収

### (3) 調査時期

- ア 発送 平成30年11月26日
- イ 回答期限 平成30年12月14日  
(12月26日到着分までを有効回答)

## 3 アンケート調査回収状況

- (1) 配布数 2,000件（うち6件が返戻）
- (2) 回収数 877件
- (3) 回収率 44.0%



★ 西脇市まちづくり市民アンケート  
あなたの声をお聞かせください

市民のみなさまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
本市では、より暮らしやすい西脇市を目指し、現在、新しいまちづくりの指針となる「第2次西脇市総合計画」の策定に取り組んでいます。  
このアンケートは、市民のみなさまの生活実感や意識、行動などを把握することで、市の取組を評価・検証し、改善につなげていくために実施するものです。  
大変お忙しいとは思いますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成30年11月  
西脇市長 片山 泰三

**調査に当たって**

- この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの15歳以上（高校1年生相当年齢以上）の方の中から、2,000人を無作為抽出で選ばせていただきました。
- この調査は、対象の宛名ご本人（ご本人による記入が難しい場合は、ご家族のご先達をお願いいたします。）にお願います。
- この調査は、特に特定の個人情報は記載することには定めてはるものの番号は○印をつけていただくようになっております。また、「その他」に当てはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入ください。
- この調査をお寄せいただいた時点で、宛名の方の情報に変更がございました場合は、お呼び申し上げます。
- 返信用封筒についているバーコードは、郵送料金の支払いのためのものであり、すべての封筒に同じものを印刷しております。個人を特定するものではありません。
- この調査内容は、随時的に公開を行いますので、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に利用することはありません。
- ご不明な点は、お手数ですが下記までお問い合わせください。

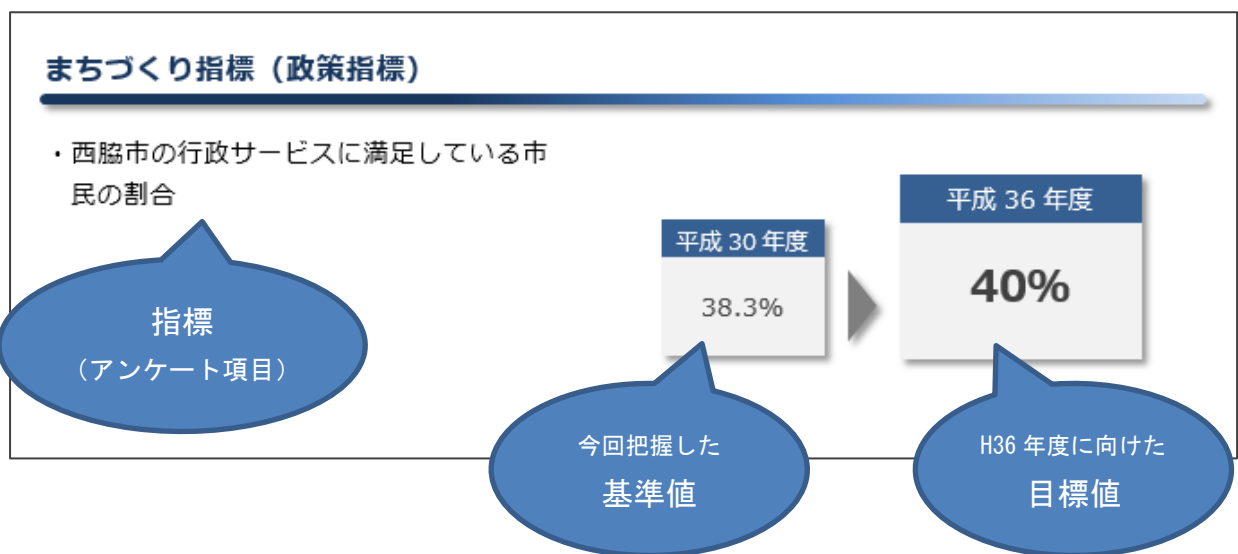
西脇市都市建設部次世代創造課 TEL 0795-22-3111 FAX 22-1014  
MAIL: sousei@ty.nishiwaki.lg.jp

平成30年12月17日（月）まで、返信用封筒（切手不要）に入れて返送してください。

#### 4 アンケート結果の活用について

- ・アンケート調査結果や社会統計データ等を活用して、政策指標を設定（基本計画（案）を参照）
- ・継続的にアンケート調査を実施し、経年の変化を把握
- ・様々な取組を進めていくことで、これらの数値が増加（低下・維持）することを目指す。
- ・平成36年度に向けた目標として、新たに数値目標を設定

#### <政策指標の例>



※ より具体的な成果を測るため、施策にも指標を設定して評価・検証を実施



## 5 アンケート結果の概要について

### (1) 回答者の属性

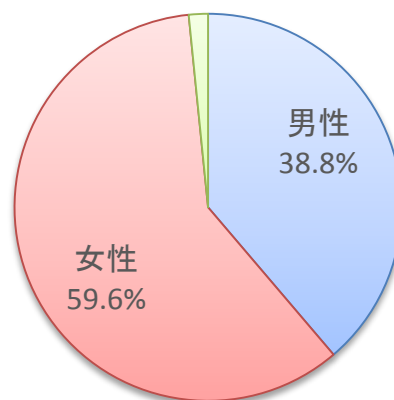
#### ア 性別

回答者の約6割が女性  
(女性の方が回答率が高い)

<回答率>

男性：34.6% 女性：51.4%

回答者\_性別(n=877)



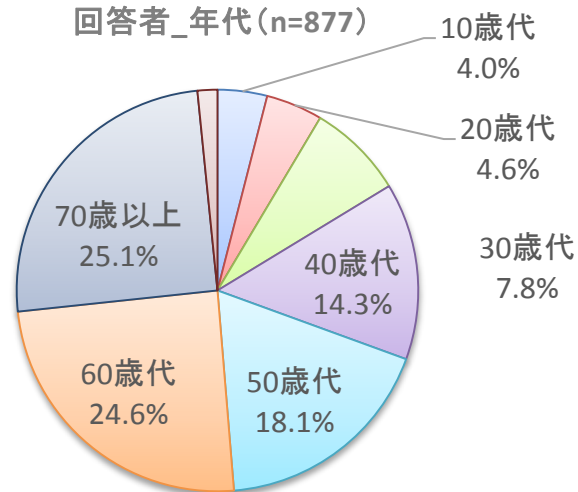
#### イ 年齢

回答者の約5割が60歳以上  
(高齢層の方が回答率が高い)

<回答率>

30歳未満：20.2% 30歳代：26.4%  
40歳代：35.6% 50歳代：46.5%  
60歳代：59.8% 70歳以上：69.6%

回答者\_年代(n=877)



### (2) アンケート調査結果一覧

	アンケート項目	H24-29 平均値	今回 調査結果	差引
子育て・ 教育分野	住んでいる地域では、子どもたちが健やかに育っている	75.5%	74.6%	▲0.9
	市内の小学校就学前の教育・保育環境（認定こども園など）は整っている	新規	67.8%	—
	小・中学校では、子どもたちが学習する教育環境が整っている	49.8%	59.7%	9.9
	子どもの学校での教育に、地域・家庭・学校が連携して取り組んでいる	47.4%	49.0%	1.6

	アンケート項目	H24-29 平均値	今回 調査結果	差引
地域福祉分野	住んでいる地域では、住民がともに支え合い、助け合って暮らしている	65.7%	56.2%	▲9.5
	地域福祉に関する活動（ひとり暮らし高齢者などの見守りや声かけなど）に取り組んだことがある	39.9%	33.9%	▲6.0
	困った時に、身近に相談できる人がいる	71.8%	82.7%	10.9
	住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある（※1）	新規	53.6%	—
地域医療・社会福祉分野	医療体制が整い、傷病になっても安心して暮らすことができる	60.2%	57.0%	▲3.2
	かかりつけの医師がいる（※2）	73.2%	76.1%	2.9
	救急救命講習などに参加し、AEDを適正に使用することができる	変更	42.7%	—
	高齢者が安心して暮らすことができる	50.9%	39.7%	▲10.2
	障害のある人もない人も、互いに理解し、尊重し合っている	38.0%	36.0%	▲2.0
	社会保障（医療保険、介護保険、年金など）の手続・相談の窓口を知っている	新規	62.8%	—
環境・安全安心分野	省エネや省資源などに心がけ、地球環境にやさしい生活をしている	67.3%	71.9%	4.6
	住んでいる地域では、空気や川の水がきれいである	新規	75.6%	—
	住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせる	新規	77.7%	—
	悪質商法などから消費者を守る「消費生活センター」の相談窓口を知っている	新規	44.5%	—
防災分野	災害に強いまちになってきている	46.8%	43.4%	▲3.4
	自分たちの生命・財産は、自分たちで守っていくべきである	92.4%	91.3%	▲1.1
	住んでいる地域で災害に備えた話し合いや訓練に参加している（※3）	新規	25.0%	—

	アンケート項目	H24-29 平均値	今回 調査結果	差引
	災害時の避難所と避難方法を知っている (※4)	新規	74.4%	—
	家庭で災害に対する自主的な備えをしている (※5)	新規	33.2%	—
都市基盤分野	市内の道路は安全・快適に通行できる	44.2%	52.0%	7.8
	買物や通院・通学のための移動に困っている	変更	12.8%	—
	過去1年間に、市内外への移動に公共交通 (バス・鉄道など)を利用したことがある	42.1%	49.1%	7.0
	安全な水道水が安定供給され、安心して水道 を利用できる	新規	89.1%	—
	まちなかのにぎわいが高まってきている	新規	8.3%	—
住環境分野	自然と調和したきれいな住環境が整っている	新規	43.3%	—
	身近に親しめる公園や緑地がある	新規	48.5%	—
	住んでいる地域では、クリーン作戦などの環 境美化の取組が適切に行われている	新規	72.1%	—
	自分の住まいは、快適で住みやすい	新規	72.2%	—
	西脇市にこれからも住み続けたい(※6)	変更	65.9%	—
産業・観光分野	できるだけ市内のお店で商品やサービスを買 入るように意識している	新規	57.8%	—
	地元(西脇市や北播磨地域)でとれた農産 物・畜産物を購入するように意識している	48.8%	55.1%	6.3
	働く場は充実している	17.9%	22.8%	4.9
	「仕事」と「自分の生活」の両立ができてい る	新規	58.9%	—
	地域資源(西脇市の自然や伝統文化、食・物 産など)を生かした取組が進み、観光交流が 活発になってきている	変更	33.3%	—

	アンケート項目	H24-29 平均値	今回 調査結果	差引
	市外の人に紹介したい地域資源（西脇市の自然や伝統文化、食・物産など）がある	新規	43.1%	—
	市民が参加する交流イベント（まつりなど）は楽しく、充実している	50.0%	48.3%	▲1.7%
健康分野	日頃から健康に暮らしている	84.4%	78.1%	▲6.3
	規則正しい食生活をしている	76.4%	76.4%	±0
	過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をしたことがある（健康体操、ウォーキングなどを含む）	変更	58.4%	—
	1回30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回以上、1年以上実施している	新規	32.6%	—
	普段、1週間のうち2日以上、外出する	新規	84.4%	—
	過去1年間に、月1回以上、友人や仲間と一緒に健康づくりに取り組んだことがある	新規	26.0%	—
生涯学習・人権分野	過去1年間に、生涯学習活動をしたことがある（自発的な学習、サークル活動や講座への参加など）	32.4%	32.3%	▲0.1
	過去1年間に、文化・芸術活動をしたことがある（音楽・美術などの鑑賞や創作・体験活動など）	41.2%	44.0%	2.8
	市内では、すべての人の人権が尊重されている	変更	30.3%	—
	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について反対する（※7）	新規	51.9%	—
地域自治分野	住んでいる地域のことに興味がある（※8）	新規	64.6%	—
	行政だけでなく、市民や地域と協働でまちづくりが行われている	45.3%	37.7%	▲7.6
	あなたは、西脇市自治基本条例について、どの程度知っている	43.1%	38.2%	▲4.9
	地域でのまちづくり活動に参加したことがある	56.2%	59.9%	3.7

	アンケート項目	H24-29 平均値	今回 調査結果	差引
	市政情報がわかりやすく提供されている	49.3%	45.7%	▲3.6
	住んでいる地域に愛着や誇りを感じる(※9)	変更	57.7%	—
行政分野	総合的に、西脇市の行政サービスに満足している	36.4%	38.3%	1.9%
	西脇市は暮らしやすいまちである	57.3%	58.4%	1.1
	市職員は熱心に仕事に取り組んでおり、信頼できる	新規	44.9%	—
	市役所の窓口サービスは利用しやすい	53.7%	56.3%	2.6
	市役所には、日常の様々な問題や不安について、相談できる窓口がある	新規	34.0%	—

<平成30年度兵庫県アンケート調査で同一質問あり>

- ※1 県：52.2% 北播磨：56.8%
- ※2 県：71.6% 北播磨：67.8%
- ※3 県：25.2% 北播磨：40.6%
- ※4 県：65.7% 北播磨：64.2%
- ※5 県：37.3% 北播磨：33.3%
- ※6 県：78.5% 北播磨：69.0%
- ※8 県：71.7% 北播磨：67.7%
- ※9 県：65.0% 北播磨：60.7%

<平成28年度内閣府アンケート調査で同一質問あり>

- ※7 国：54.3%